

Information

学校名： **ASA College**

NYLLC (New York Language Learning Center) *NYLLC は Division of ASA College です

(アメリカ合衆国、ニューヨーク州ニューヨーク)

学校ロゴ： **ASA College**

NYLLC(New York Language Learning Center)



現在の ASA カレッジの基礎となる学校を 1985 年にブルックリンに設立、現在ではマンハッタンのミッドタウンにもキャンパスを構えています。ニューヨーク州教育省から認可を受け、世界 100 か国を超える国からの留学生が一般の学生と一緒に学んでいます。現在では、教授陣や教育サービスの質を証明するミドル・ステーツ委員会 (MSCHE: Middle States Commission in Higher Education) から Accreditation (認証) を受けており、語学の習得を目指している学生から、準学士の取得や 4 年大学への編入、また OPT 資格を取得してアメリカで働くことを目標にしている学生まで、みなさんの留学プランに応えられる幅広いプログラムを提供しています。また、セメスター制のプログラム、SESL とカレッジプログラムに関しては、奨学金制度の対象となるため、要件を満たしている場合、学生にとって気がかりな学費を半分の負担で留学を実現することが可能であり、無料の補習クラスが受けられることを含め、常に頑張る学生をサポートする体制が充実しています。

- 特徴**
1. 両キャンパス (ブルックリン、マンハッタン) とともに公共交通機関での通学が便利
 2. カレッジ・プログラム (16 か月コース) の入学に TOEFL スコア不要
 3. 校内でのトランスファー、プログラム移行がスムーズに出来る
 4. 無料の補習クラスが受けられる
 5. 学校が授業料を半分負担する奨学金制度あり (条件を満たしている場合 / 返済不要)

1. 現在のマーケット

語学習得のみを考えている学生には、短期から長期まで期間を自由に選べる IEP (Intensive English Program/ 英語集中講座) またはセメスター制 (1 セメスターは 4 か月) の SESL (Stand-alone ESL)、また学位の取得を目指す学生には 2 年大学コースのカレッジ・プログラム (16 か月コース) を案内しているが、現在は語学プログラムの IEP で語学力の基礎が出来た学生には、準学士取得が可能な 2 年大学コースへの進学をさらに積極的に勧めている。

2. 主要（最寄り）の空港からのマンハッタンのオフィスまで

行き方：JFK 空港から留学生サービスオフィスのあるマンハッタンキャンパスまで 50 分

JFK—徒歩 2 分—JFK Air Train—6 分—地下鉄 E、Jamaica Station / Stuphin Blvd. 駅—40 分—42St.-Port Authority Bus Terminal 駅—徒歩 5 分—地下鉄 N/Q/R、Times Sq. 駅—2 分—34St-Herald Sq.—キャンパス到着 *駅の階段を上がるとマンハッタン・キャンパスの正面玄関

3. 最寄り駅 B/D/F/M/Q/N/R、A/C/E、1/2/3 The Long Island Rail Road

4. キャンパスについて *IEP はマンハッタン・キャンパスで受講

ブルックリン：3 キャンパス（2 フロアと 3 フロアあり）

マンハッタン：2 キャンパス

5. 1 クラスの人数

IEP： 最大 20 名、平均 12 名 *夏と冬は短期で受講する学生が多い

セメスター制コース（SESL、2 年大学プログラム）： 最大 25 名、平均 18 名

6. 週のレッスン数

IEP： 週 20 時間、一日 4 時間 *午前コース：9am-1pm / 夜間コース：5pm-9pm

セメスター制コース（SESL、2 年大学プログラム）： 週 12 時間から、一日 3 時間から

*IEP と違って、スケジュールは各個人の希望により、かなりフレキシブルに作成できるため、一日当たりのレッスン数は一人ひとり違ってくる

7. 入校日とレベル

IEP： 隔週月曜日スタート（祝日等の関係で火曜日の場合もあり）、2 週間～48 週間コース

*10 レベル編成（常時 8 から 9 レベルあり）

セメスター制コース（SESL、2 年大学プログラム）： 1 セメスターは 4 か月で 2 月、6 月、10 月スタート

*レベルは ESL が 3 レベル（B,C,D）

*2 年大学コースは各自で違いますが、最短 1 6 か月修了で、最長が 3 2 か月まで

8. 最低入学年齢と平均年齢

IEP： 1 6 歳以上 / 平均： 25 歳

セメスター制コース（SESL、2 年大学プログラム）： 高卒以上 / 平均： 2 3 歳

*大検修了者は現時点では入学不可となりますので、ご注意ください

9. 日本人の割合（7, 8 月）（2, 3 月）

IEP： 左から 30%、20% *年間平均 25%

セメスター制コース（SESL、2 年大学プログラム）： 全セメスターを通して約 3%

10. 学生の国籍・割合

IEP：日本人 20%

韓国人 30%

他のアジア（トルコ、中国、香港など）30%

ヨーロッパ系・ロシア系・南米系 20%

セメスター制コース（SESL、2年大学プログラム）：

SESL：日本人 10%

アジア系（韓国、中国など）20%

その他の国出身の留学生（ロシア系、ヨーロッパ系、アフリカ系など）30%

一般のアメリカ人学生（ヒスパニックなど）40%

2年大学プログラム：

日本人 3%

アジア系（韓国、中国など）7%

その他の国出身の留学生（ロシア系、ヨーロッパ系など）20%

一般のアメリカ人学生（白人、ヒスパニックなど）80%

*IEPでは、アジア系は年間を通して、全体を占める割合は大きい。夏季は、スペインやフランスなどのヨーロッパ系が夏休みを利用して短期コースを登録する傾向がある。ただ、セメスター制コースになると、アジア系の比率はIEPと比較すると、常に低い。平均して、語学力の基礎があるヨーロッパ系は始めから2年大学コースに登録するケースが多い。

11. 授業料 *スタート日は別資料に記載/登録料、テキスト代は別途要

IEP：下記のチャートを参照

	2wks	4wks	6wks	8wks	10wks	12wks	16wks	20wks	24wks
20hrs./w	\$300	\$590	\$890	\$1090	\$1360	\$1560	\$2080	\$2600	\$2880
Week	28wks	32wks	36wks	40wks	44wks	48wks			
20hrs./w	\$3360	\$3840	\$4320	\$4800	\$5280	\$5520			

セメスター制コース（SESL、2年大学プログラム）：

*下記のレベルは Placement Test の結果により指定されるが、レベル A が一番低いレベルとなる

**括弧内の授業料は奨学金が適用される場合の金額

SESL（1セメスター） レベル B、C \$2760 (\$1380)

レベル D \$2940 (\$1470)

2年大学プログラム（1セメスター）

レベル A, B, C *ESLのみ

*大学プログラムの科目をとる前で、ESLのみのセメスターとなるため、上のSESLと同じ

1セメスター \$5940 (\$2970)

*レベル D 以上から最大9単位の受講が可能

12. 奨学金制度について

日本の高校また大学などの GPA が 3.0、B、または 80%以上あることが条件で、英文に翻訳された成績証明書を提出してもらい、これを Registrar Office で審査。コースへ登録をする前に奨学金取得の可否の回答は可能。対象となるプログラムはセメスター制コースで、入学後は各セメスターの GPA が 3.0 を下回ると、次セメスターでは奨学金が適用されないため、常に良い GPA を維持することが求められる。また、入学時に奨学金の対象とならない学生でも、そのセメスターの成績がよければ、次に登録するセメスターでは対象の学生となる。

*成績証明書に短いエッセイを添えて、提出する

13. General コース以外のコースの特徴 *General コースを語学プログラムと見なした場合

2年大学コースは16か月修了コースのため、入学時に受ける Placement Test のスコアが一番良いレベル E 判定だった場合、最少の3時間の ESL: Advanced Writing (留学生は必須、Non credit の科目) が追加で受講する必要があるだけで、一般の学生と同様、16か月での卒業することが可能。メジャーは Business、Health Disciplines、Computer Technology、Criminal Justice で、いずれも卒業すると OPT 申請が可能。また、同じ NY 州の Articulation がある大学に限らず、全米4年大学に取得単位を移行して編入が可能 (Grades が悪かった場合や教科の内容が違う場合は単位の移行は不可)。要件を満たしている場合、学校が授業料を半分負担する返済不要の奨学金制度が利用できるため、良い成績 (GPA) を維持することで、結果的には学費を抑えて勉強することも可能。

14. 滞在について (ホームステイ・大学寮・レジデンス・ホテル)

学校運営のドミトリーはブルックリンに一つあるが、部屋数が多くないため、基本的には YMCA などの一般的なドミトリーまたはドミトリー形式のレジデンス、ホームステイ先の紹介をメインにしている。

(*Accommodation flyer を参照)

ニューヨークに留学する学生、また実際に生活を始めた学生の傾向としては、ルームシェア希望が多いため、そういった物件を多く取り扱っている日系の不動産業者や日本人コミュニティのアクセスが多い掲示板のあるサイトなどの情報案内という形であれば、通常のカウンセリングの中でも相談に乗っている。

ホームステイについては、土地柄、郊外のホストファミリーと違って、シングルの方が登録していることも多く、生活する中でほとんど学生と時間を共有しないケースがあるため、当たり外れはあるが、相貌に沿うためにも早めの相談をお奨めしている。不動産業者によっては、アメリカ人とのルームシェアを仲介しているところもあるため、その場合は全て自己責任ではあるものの、きちんと学生自身が物件や条件、ルームメイトを確認できるため、ニューヨークの場合はこういった探し方も選択肢の一つである。

15. アクティビティについて (内容・頻度)

IEP: おおよそ月1回 (レッスンの一部として)

[内容] MoMA 美術館、自由の女神ツアー、Bronx Zoo ツアーなど

*レッスンとは別にインストラクターと一緒に参加する課外アクティビティが月4回、内容はブルックリン橋ウォーキング・ツアーや映画鑑賞など。

*セメスター制コース (SESL、2年大学プログラム) も上記の課外アクティビティに参加可能

16. カウンセラーについて

日本人で日本語が話せるカウンセラー1名が常駐している